

農林水産総合技術支援センター「ローカル5G基地局」の開局について

1 目的

第5世代移動通信システム「5G」は「超高速・大容量」「超低遅延」「多数同時接続」の特長を持ち、「Society 5.0」の実現に向けた基幹インフラである。

農業分野においても、デジタル技術の活用による超省力化や高品質生産を可能とする「スマート農業」での活用が期待されている。

そこで、「スマート農業」の実装を加速するため、去る4月8日、「農林水産総合技術支援センター」において、「ローカル5G基地局」を開局した。

2 基地局の概要

- (1) 免許年月日：令和3年2月26日
- (2) 周波数帯：4.8GHz帯（自治体では全国初）
- (3) 特長：遮蔽物の影響を受けにくく、比較的広いエリアで使用できるため、屋外での利用に最適



ローカル5Gアンテナ

3 取組

(1) スマート技術の開発

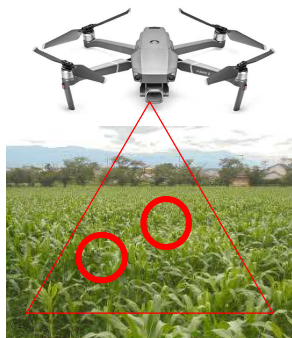
高精細な映像をリアルタイムでAIに解析させ、病害虫の発生状況を迅速かつ正確に把握する技術などの開発

(2) スマート人材の育成

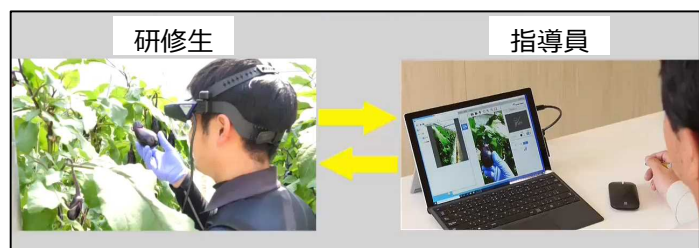
農業大学校において、「スマートグラス」で栽培技術のポイントを学べる実習システムによる人材の育成

(3) 5Gオープンラボの開設

企業、大学等に広く開放し、スマート技術の開発と実用化を産学官一体で推進



病害虫発生状況の把握



スマートグラスを使った実習